

組合だより

牛乳で
スマイル
プロジェクト

JA

おからく

2026

1

vol.283

令和8年1月1日発行

発行：おかやま酪農業協同組合

責任者：小椋 孝史

津山市川崎94-1

☎(0868)26-1101



新年のご挨拶

おかやま酪農業協同組合 代表理事組合長
中国生乳販売農業協同組合連合会 会長

檜尾 康 知



新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様、関係団体の皆様におかれましては、ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は組合運営・事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返ると、夏は関東から九州にかけ40℃近い猛暑が続き、北海道帯広市では40℃の予報が出されるなど日本列島を猛暑が襲い、健康被害や農業生産にも大きな影響を与えました。さらに国内外で大規模災害が相次ぎ、3月には岡山市南区の大規模山林火災が発生し、各地で大規模火災、地震、水害、突風等とはもとより、北日本では熊を始めとする鳥獣被害も多発しており、被害を受けられた方にはお見舞い申し上げます。

す。

国内情勢は4月に米国トランプ大統領が「相互関税」を導入し、日本に対して24%の関税が課せられましたが、交渉の結果7月に相互関税を15%に引き下げることに合意したと報道され、合意には投資拡大、市場開放が明言されており、今後の日本経済に大きな影響を与えると推測されています。

7月には参議院選挙が行われ、一昨年の総選挙に引き続き、自公政権は過半数に届かず、公明党は「政治とカネ」を巡る不信から連立を離脱する中、自由民主党は日本維新の会と連立合意し、高市氏が史上初の女性首相に就任されました。就任後、高い支持率のもと、スピート感のある外交、経済対策は奏功している反面、落ち着きを見せていた為替は円安が進み、株式市場は乱高下しており、さらに日中関係は不透明な状況に陥っています。

また、一年を通じて、物価高騰は止まらず、特に「令和の米騒動」により米価格は高騰し、主食米作付けへの転換が進み国産粗飼料生産が危

惧されています。

酪農関連では、3月に「酪肉近代化基本方針」が制定され、国産飼料の生産・利用拡大、生乳生産基盤の強化、需給調整機能強化、経営資源の最適化、生乳流通の合理化を進め、酪農業の持続可能な発展に寄与し、国産乳製品需要を確保するため、2030年度の生乳目標数量を現状並みの732万tに据え置かれました。

8月には酪農窮状により離農や倒産が加速していたことから、飲用等向け乳価が4円/kg値上げされましたが、飲用需要は低調で推移する中、生乳生産量は堅調に推移し、年末年始の処理不可能乳の発生が懸念され、脱脂粉乳等の乳製品加工が増加し脱粉在庫は3月末には8.6万tと推測されている中で「ミルクで1〜3月に脱粉在庫削減対策の発動を決め、酪農乳業8団体も業界協調の取り組みを強化し、消費拡大に取り組んでいくと表明しました。

10月には10年ぶりに乳牛の祭典「第16回全日本共進会」が北海道で開催され、400頭が予選を勝ち抜き出場されました。岡山県からは11頭が出場し、「リードマンコンテスト」を含め、素晴らしい成績を残すことができました。出品者並びに関係機関の皆様には感謝申し上げます。

す。また、全国の酪農家同志の交流が全共の魅力であることを改めて認識することができました。

当組合の状況は猛暑や経産牛頭数が減少しているものの、農家戸数の減少は鈍化し、猛暑対策も進んでいることから、生乳生産は前年比100.1%計画比103.0%で推移しており、令和7年度計画89,000tを上回ると見込んでいます。また、下期には、疾病蔓延防止対策推進に加え、良質乳生産対策や細菌数適合率向上対策の新設により良質乳生産への取り組みや飲用需要掘り起こしのため消費拡大運動を展開してまいります。

生産資材の高止まり等、さまざまな課題に直面しておりますが、組合員皆様の経営支援を進め、組合組織の合理化、経費削減を進め農家手取り確保のため手数料等の削減を図ってまいります。

組合員の皆様、関係者の皆様には本年も組合事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り、皆様方のさらなるご発展、ご健勝を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

全国酪農業協同組合連合会

代表理事会長 隈部 洋



新年明けましておめでとうございます。

おかやま酪農業協同組合の組合員の皆様並びに役職員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日頃より弊会事業に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は8月のコロナ禍以降3度目となる乳価値上げや酪農現場での生産性向上や効率化に向けた取り組みが進んだ一年でした。

弊会は、国産牛乳・乳製品の需要拡大の活動として、「牛乳でスマイルプロジェクト」のもと、酪農青年女性会議として全国各地での理解醸

成活動を行い、「高校牛乳自販機導入プロジェクト」では特別授業を実施しました。

酪農生産基盤を支える活動として、3団体との共同出資で「らくのう乳業株式会社」を設立しました。

（一社）全酪アカデミーでは、新規就農を目指してきた研修生が今年1月1日から生乳出荷を開始します。また関係先と連携し、各種養成コースの設立へ向け始動しました。

本年は、弊会の第十三次中期事業計画の最終年度にあたります。「NEXT STAGE 全酪」を合言葉に、わが国の酪農が直面する諸課

題に引き続き対応し、今後とも会員の皆様のご協力と行政・関係団体のご指導ご支援を賜りながら、持続的な酪農生産基盤の構築に尽力する所存です。

最後になりますが、おかやま酪農業協同組合の組合員の皆様並びに役職員の皆様のご健勝とご発展を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

岡山県農林水産部畜産課

課長 森 分 哲 彦



新年明けましておめでとうございます。

おかやま酪農業協同組合の組合員の皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。また、旧年中は、本県畜産行政

に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、10月に北海道で開催された「第16回全日本ホルタイン共進会」で丸山昭博さんの出品牛が第18部で優等賞1席に選ばれたことは、記憶に新しいところで。本年もこのような岡山県の酪農に元気を与えてくれる明るい話題が多く寄せられることを願っています。

さて、酪農情勢につきましては昨年8月に乳価が値上げされましたが、飼料をはじめとする生産資材価格が高止まりしており、依然として厳しい状況であることは承知しております。県では酪農経営を持続的に維持していくため、物価高騰に対する緊急的な支援を行うとともに、経営の安定化を図るため耕畜連携による県産飼料の利用拡大等を推進しているところでございます。

酪農経営を取り巻く環境は不安定な状況が続いていますが、関係者の皆様と一丸となり、本県の酪農を盛り上げていきたいと考えております。

ので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。結びになりますが、午年は「努力が実を結ぶ」「挑戦が実る」年とされているそうです。おかやま酪農業協同組合員の皆様にとって実り多き年となりますよう祈念申し上げます。また、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

酪友運送株式会社

代表取締役 濱 田 浩 平



新年明けましておめでとうございます。

おかやま酪農業協同組合の組合員の皆様方並びに役職員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

されました。
これまででは、一度運送業の許可を取得すれば無期限営業であった制度に大きなメスをいれるものであります。

この法律の目的は物流業界全体の適正化・安全性の向上を目的とするものであります。

各運送業者は5年ごとに、事業運営や法令遵守などの審査をうけることとなります。具体的には経営状況（財務）が良好であること、労務管理が法律通りに守られているか、運転手に国の定められている安全教育の講習の実施などが審査されます。

これらの審査に合格できなければ更新されず廃業となってしまいます。
5年更新制の導入は物流業界の大きな変革であり、個々の事業者が、今後取るべきこととして、日常的に審査に耐えうる体制を構築し、維持することが求められます。

弊社といたしましても今年は5年更新制度に対応するための体制づくりの一年となりそうです、職員一丸となり頑張りたいと思います。

最後に、おかやま酪農業協同組合員皆様のご発展とご健康を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新しい年を迎えるにあたり

オカラクミート株式会社

代表取締役 岡 本 誠



明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

昨年は大阪・関西万博の商業的な大成功という喜ばしいニュースもあ

りました。代表取締役 岡 本 誠
りましたが、物価高や人手不足そして令和の米騒動など、今後の先行きに不安を感じる年だったように思えます。

弊社においても例外ではなく、資材、エネルギー及び仕入れ価格の高騰により、度重なる値上げをお願いすることとなり、大変申し訳なく思っております。引き続き、経営努力を重ねて、商品を安定供給できるように頑張っていきたいと思いま

す。また、弊社を取り巻く食肉の流通については、牛の頭数不足と価格高騰による需要の減退が課題となっています。これについては、市場等の状況を注視しながら、適切に対応していかなければならないと考えています。

そんな年ではありましたが、組合員の皆様からの温かい支援により平穩無事に過ごすことができました。

この場をお借りして感謝を申し上げます。昨年は職員の能力開発に取り組みました。基礎的・基本的な技術の定着や向上。業務効率化の推進を重点に、職員間で意識を共有しなが

ら実践しています。成長戦略としては、食肉の生食用加工など、津山圏域以外へのビジネスの拡大に向け、積極的に挑戦をしております。本年も地域の畜産の発展に寄与することを使命として職員一丸となり業務に邁進します。

末筆ながら、皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



新年のご挨拶

西日本興農株式会社

代表取締役 柿 本 平 三



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様をはじめ関係各位におかれましては、新年をお迎えの事まことに御目出度く、お慶び申し上げます。

旧年中は弊社に格別のご支援、お引き立てに預かり厚くお礼申し上げます。旧年同様の御愛顧の程よろしくお願いいたします。

昨年は、トランプ関税で産業も打撃を受け、諸物価高騰となっております。

また、為替相場も大きく円安となり、輸入価格の高騰が益々心配されます。畜産関係の諸材料も価格の値上が

りラッシュが続き、ユーザーとの板挟み状態で苦しい経営を強いられております。

その中で、年末にかけての燃料の価格が下がったことだけが救いです。

生産者の方々におかれましては身の回りすべてが値上がりで厳しい経営環境に置かれていますが、なお一層の奮起を願う次第であります。

終わりになりますが、本年も関係各位のご発展、ご健勝を祈念し、また弊社をはじめ、関係各社への旧年同様のお引き立てをお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

株式会社きびじ酪農運輸

代表取締役 笹 野 英 明



新年明けましておめでとうございます。

おかやま酪農業協同組合の組合員の皆様並びに役職員の皆様におかれましては、良き新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は弊社の運送業務につきましては格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、2月に岡山市南区で大規模な山火事が発生しました。また同月に新見市大井野への県道が土砂崩れのため通行不能となり、遠距離迂回を余儀なくされ集乳業務に大きな支障をきたしました。

気候的には梅雨が短く猛暑・酷暑

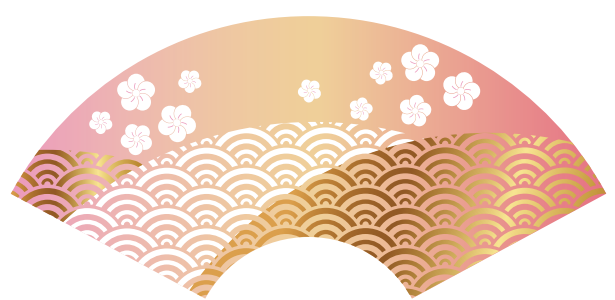
が長期にわたり、次々と記録を塗り替える未曾有の夏でした。乳牛にとつては最悪で酪農家の皆様も大変なご苦労があったと思います。

参議院選挙では自民・公明から自民・維新の連立に代わり女性初の高市総理が誕生しました。今後の高市政権・連立手腕が問われます。

経済面では原材料費の上昇と円安などの要因により諸物価が高騰し値上げラッシュが続いています。午年は「活気があり新しいものが生まれる年」と言われています。諸物価が落ち着き安定した酪農環境となり酪農が発展し、良い方向で新しいこと

が始まる年となればと大きな期待を持っています。

弊社においても社員の確保と山積する課題を一つ一つ解決しながら地道に努力を続けてまいります。最後になりますが、皆様方がご健勝で心機一転・復活・再生の一年となりますように衷心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

岡山県酪農政治連盟

委員長 三宅 穰 次



新年明けましておめでとうございます。

平素より政治連盟の活動にご協力いただき、ありがとうございます。さて、今年こそ我々酪農家にとって、明るい年になるよう期待したい

ところですが…。新年早々、飼料代の軒並み値上げ、都府県で5千戸を切ろうかという酪農戸数減少にもかかわらず、牛乳のだぶつきと暗い情報山の積みみです。そんな中、12月には県から経産牛1頭当り9千円の助成をいただきました。また、市町村でも格差はありますが、支援を受けた町もあります。今年も重点支援地方交付金が増額して支給されます。昨年同様「飼料高騰に苦しむ酪

農家等に対して」という文言を入れてもらうよう農水省にお願いしてあります。県への要請は三役で行いますが、市町村においては、各支部でしっかりと対応していただき、なんとかして支援を勝ちとっていただきたい。今年度からクラスター事業も再開され、増頭要件もはずされます。機械の更新も要請してまいりましたが、更新と言わず省力化コスト削減をうまく使えば、実質の更新も可能です。高市政権は我々にとって千載一瞬のチャンスだと思っています。このチャンスをのがすことのないよう、精一杯要請活動に邁進していきたい



と思っておりますので、引き続きご協力をお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

おかやまホルスタイン改良同志会

会長 山本 真 五



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、本活動に多大なるご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。昨年の岡山県内の酪農は、記録的な高温や飼料・資材価格の高止まりなど、経営を揺るがす厳しい一年と

なりました。特に夏場には、乳量の減少や繁殖成績への影響が多くの農家で見られ、改めて気候変動への備えの重要性が感じられました。そのような状況下でも、皆様が日々の給餌管理や飼養環境の見直し、省力化の工夫に取り組まれ、岡山の生乳生産を守り抜かれたことに深く敬意を表します。

県北では、牧草収量の確保と品質維持に向けた努力が続く、県南では、暑熱対策や労働負担の軽減に向けた設備改善など、それぞれの地域

特性に応じた取り組みが進みました。また、若手酪農家の新規就農や研修参加も見られ、次世代へつなげる動きが広がった一年でもありました。皆様の前向きな取り組みが、岡山県酪農の力強さそのものであると実感しております。

昨年は酪農王国北海道で10年ぶりとなる「全日本ホルスタイン共進会」が開催となりました。全国から同じ志を持った方たちが集うその地に、我々岡山県改良同志会も日々の改良の集大成としてホルスタイン6頭、ジャージー5頭を連れて行ってまいりました。

広大な環境と酪農技術の先進性を目の当たりにし、岡山県の改良への取り組みを比較する最高の舞台にな

りました。他県との交流から、血統、管理、日常のルーティンの違いも勉強になりました。また、地元岡山県からもたくさんの方々の関係者の皆様にご支援をいただいたうえ、応援にも駆けつけていただき、厳しい寒さの中でも、非常に心強かったです。

我々改良同志会は、岡山の酪農が次の世代まで続く産業となるよう、皆様とともに力を合わせ最先端の情報を提供して歩んでまいりたいと存じます。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

おかやま酪農ヘルパー利用組合

組合長 佐賀 勲



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。ヘルパー事業にもご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

私も酪農就農五十数年となり、過去を振り返るといろいろなことがあ

りました。就農当初、酪青研の活動に入り、大先輩からいろいろなことを学びました。先輩や同期からは良いこと悪いことなどいろいろかわいがっていただきました。

ヘルパー制度が発足してからもいろいろな事件、問題、人間関係など農家の皆様の協力のもと、解決してきました。

今、酪農経営も作業内容の高度化が進み、ヘルパー担当者も日々の研

究、勉強が大変となっています。ヘルパー担当者の努力も必要ですが、農家の幅広い知識と経験などで誠実にご指導いただければ幸いです。今年も午年、飛躍の年となるよう、ヘルパー制度を上手に使っていただき、安定した酪農経営を送っていただきたいと思います。

新年のご挨拶

おかやま酪農協同組合女性部

委員長 安 富 由美子



新年明けましておめでとうございます。平素より、おからく女性部の活動

に對しまして、ご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。昨年

は、「全国酪農青年女性酪農

発表大会」が岡山で開催されたこともあり、多くの方々に応援に来ていただきましたこと、運営側といたしまして感謝しております。

突然ですが、皆さんは、「推し!!」っていますか？

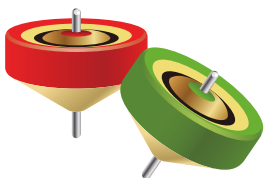
私は牛舎で推し活をしていました。つとって過去形になっていま

すが……。そうなんです。昨年、我が牧場から旅立った牛が推しでした。

その子は、岡山県の平均産次が2産、3産と言われている中で、14歳で12産という偉業を成し遂げてくれました。大きな病気をすることなく、昨年、最後となる分娩も自然にあつさりと言ってくれました。長命連産に関わらず、牛にとって、今いる牧場で少しでも長く健康に活躍できる環境を整えていきたいですね。

今年の干支は、丙午。情熱や強さを象徴する特別な干支とされているようです。

私たち酪農家は、次世代のために、地域の酪農の火を消さないために、何ができるのかを考え、動いて



新年のご挨拶

おかやま酪農業協同組合青年部

委員長 中 村 宏 之



新年明けましておめでとうございます。

平素より、青年部の活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年は、引き続き高止まりする飼料価格に加えて、夏は県北各地で観測史上最高気温を記録するなど記録的猛暑に見舞われ、酪農業界にとって平穏とはいえない一年でした。

ですが、近年のパンデミック、国際紛争等に端を発した酪農情勢の急激な変化の影響はやや落ち着き、地に足をつけて日々の取り組みを見つめ直すことができるようになりつつあると感じています。

青年部においても、コロナ禍に

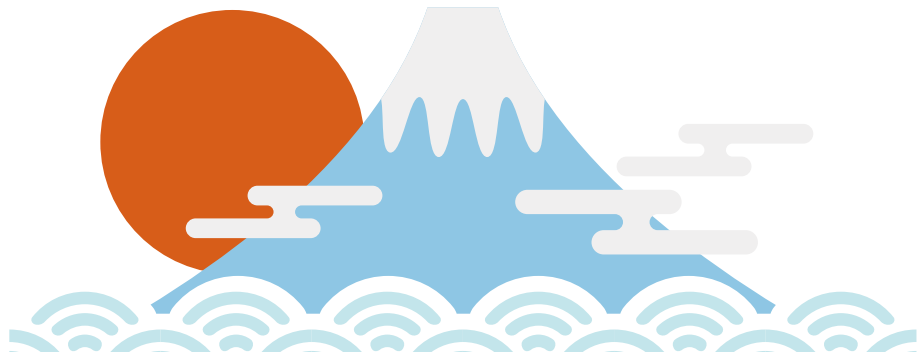
よって大きく縮小していた交流活動も以前の活気を取り戻し、小学校への酪農出前授業や高校生を対象とした牧場訪問、意見交換会などにも積極的に協力、参加していただいております。

このような草の根の活動を通じて子どもたちや若い世代に酪農の魅力を伝え、現場の姿を知ってもらうことで、酪農への理解を深めていただくとともに、私自身も自分の仕事を見つめ直すきっかけになっていると感じています。

本年の干支である丙午は、十干において火と太陽の象徴する丙と十二支において勢いや前進の意味を持つ午が合わさり、60年の中で最も躍動する年であると言われています。これにちなんで、今年は新たな試みにも積極的に取り組んでいく一年にしたいと考えています。

2026年が皆様にとって活力に

あふれた一年になるようにお祈り申し上げます。本年もよろしくお願いたします。



謹んで新春のご挨拶を

申し上げます

◎酪友運送株式会社

代表取締役 濱田 浩平

◎オカラクミート株式会社

代表取締役 岡本 誠

◎西日本興農株式会社

代表取締役社長 柿本 平三

◎株式会社きび酪農運輸

代表取締役 笹野 英明

◎一般財団法人おからく教育振興会

代表理事 檜尾 康知

理事 蒲田 泰介

理事 濱田 浩平

理事 小椋 孝史

理事 安富 照人

理事 岡本 宗慈

理事 安東 健

理事 宮本 雄介

理事 柿本 平三

理事 藤本 実

理事 三宅 安史

理事 有安 亮代

午年の抱負

新年の抱負



津山事務所
(勝央町)
河本 直紀

2026年、午年明けましておめでとうございます。

私も今年で還暦を迎えます。どうりで体のあちらこちらが言うことをきかなくなってきました。(まさに「老いるショック」ですね)笑！酪農を始めて30年以上が経ちました。振り返ればドラマの連続でしたが、今日まで続けてこられたのは、組合や地域の仲間のおかげだと感じています。

先日、『健土健民』を理念とする

大会に参加してきました。

創設者である黒澤西蔵氏の「人が育たなければ酪農が育つわけがない」という言葉が心に残りました。

これからの酪農人生も、楽しみながら歩んでいきたいと思っています。

そして最後に、いつも支えてくれる家族へ感謝を込めて。

「おとうさん、仔牛産まれとるで」
……やれやれだぜ!!

新年の抱負



蒜山事務所
(真庭市)
筒井 省悟

新年明けましておめでとうございます。4度目の午年を迎えます。

2025年は、いろいろ記録的なことがあった年でした。気候にしても普段涼しい蒜山でも連日猛暑、少雨、牧草は夏枯れになり、収量ダウン。デントコーンは豊作で助かったが、自給飼料を作るにもいろいろ考えます。

日本や世界のニュースでも初めて聞く話など、大変多く日々驚かされます。

もう少し、のんびり酪農をしたいです。

2026年は平凡な年になつてほしいです。そんな中で働いて、働いて、良い環境作りをして飛躍する年にしたいです。

皇紀二千六百八十六年の幕開け



備南事務所
(笠岡市)
東山 大介

今年是我が日本国初代天皇であらせられる神武天皇が、紀元前六六〇

年に即位されてから二六八六年になります。

大御宝の皆様、昨年は大変お世話になりました。

私個人としては、昨年もここ数年同様、大変厳しくありましたが、同志の皆様取り組みや励ましに支えられ感謝に堪えません。

さて、酪農を取り巻く環境は皆身を持って体感されていることと思

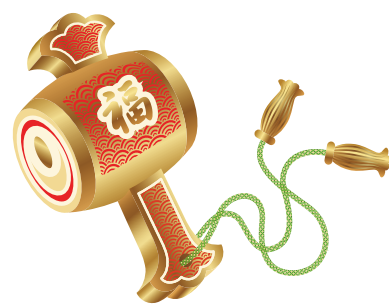
います。しかし、酪農の役割は果てしなく、食糧供給、地域経済、循環型農業、さらには国土保全と今や国や社会を守る礎として我が国に必須の産業といえましょう。

我々日本人は日本国建国以来、「建国の詔」の一文にある「八紘一宇」(八紘為宇)の精神を心に根付かせ代々継承しています。酪農組合や共販体制もその一つだと認識し、これから

もさらに強固になつていかなければなりません。

今一度、酪農の意義を心に置き、国や国民を守る使命感を持ち、日々邁進していこうではありませんか。私も「世界平和」「万邦共栄」を願い精進してまいります。

本年もよろしくお願いいたします。



新年に思うこと



びほく事務所
(真庭市)
岡本 幸子

新年明けましておめでとうござい
ます。

新たな気持ちで新しい年をお迎え
のこととお慶び申し上げます。

主人と結婚し、何もないところか
らの牛飼いのスタートでした。今か
ら思えば苦しいことの方が多かった
と思います。

新年の抱負



西大寺事務所
豊浦陽二郎

新年明けましておめでとうござい
ます。

皆様におかれましては、ますます
ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私も、4度目の年男を迎えること
ができ、おからくに入り早10年目と
なりました。その間、津山で5年お

牛が大好きで働きの主人に引ッ
張られてきたので、続けてこられた
のだと思います。幸い二人共大きな
ケガや病気もなく、三人の子どもた
ちにも恵まれて、気付けば何度目か
の年女だということです。

今は成牛約15頭といろんな種類の
ぶどう40a程を作る二刀流で頑張っ
ています。

だんだんと体も無理がきかなくな
り、健康への不安は一杯ですが、楽
しみを常に持ち前向きに生きていこ
うと思っています。

最後になりましたが、本年が皆様
にとって良き年でありますようお祈
り申し上げます。

世話になり、現在西大寺で5年が経
とうとしております。組合員の皆様
には、常日頃よりご指導、ご協力的
いただき大変感謝しております。

今年は、丙午の年であり、情熱や
変化を象徴する年とされているそう
です。

今後、時代の流れと共にいろいろ
な変化があると思いますが、日々勉
強し目標に向かって突き進む一年に
したいと思っています。

最後になりましたが、皆様にとっ
て幸運が駆け込んでくる一年であり
ますように、心よりお祈り申し上げ
ます。

謹んで新春のご挨拶を申し上げます

代表理事組合長 檜尾康知

総務委員長 平野耕平

業務委員長 小村雅紀

理事 高田照義

〃 松崎範之

〃 立田豊常

代表監事 安富照人

監事 岡本宗慈

山本真五

永禮淳一

上森享

入澤信仁



「供卵牛情報と採卵計画(2月分)」について

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

本年もよろしくお願
いたします。

ご利用の場合より詳
細な情報が必要な場合
は、最寄りの家畜保健衛
生所、受精卵移植師等に
ご相談ください。在庫卵
も各種多数ありますの
で、ご利用をお願いいた
します。

なお、能力評価を牛群
検定成績から行うため、
検定参加農家の方を譲渡
対象としています。

また、採卵予定日や交
配予定種雄牛は急遽変更
になる場合がありますの
で、あらかじめご了承願
います。

次回の採卵は3月5日
を予定しています。
※ご要望・ご意見等あり
ましたら、畜産研究所
までご連絡ください。

【優良牛】(選別性判別無し@32,560、雌判別@43,450)	供卵牛の遺伝能力評価等	採卵予定日
<p>♀：ダイベロップ ソリユーション プリン 9685 E T 登録番号：15369 9685 0 北海道導入牛、産乳成分に優れる</p>		2 / 13
<p>♂：カワイイ (11H16334) 米国8位相当 ヤングサイヤ、乳量・乳成分に優れる 生産寿命・受胎指数・飼料効果の改良</p>		

在庫卵情報 (在群上位牛、ダイレクト凍結卵)

R 7 年11月末時点

採卵牛	総合指数	(順位)	系統	個体識別番号	種雄牛	TPI	NTP	在庫数
ウルル	3283	1 %	ウエストジエツト	1390973202	オーウエン (♀)	777H12666	3085	6
					エンパワー (♀)	629H20939	3080	7
					レネゲード (♀)	550H14134	3064	3
					トウルーパー (♀)	614H15179	3277	4
キヤツブ	3104	1 %	チャシテイ	1509873645	パースーツ (♀)	777H11186	3043	6
キキ	2983	3 %	キヤロットK	1390973127	パーフェクト (♀)	507H15085	3120	3
リア	2983	3 %	リラZ	1390973165	トウルーパー (♀)	614H15179	3277	4
キルト	2945	3 %	キヤロットK	1354871971	レッチワース (♀)	550H16110	3155	4
キヤスト	2917	4 %	キヤメロン	1390973127	デデイケート (♀)	551H3590	2991	3
キール	2785	10%	キヤメロン	1655873834	レネゲード (♀)	550H14134	3064	2
プリン	2703	16%	ペニア	1536996850	カワイイ (♀)	511H16334	3298	8
					オラフ (♀)	511H15088	3058	6

全て選別精液ダイレクト凍結卵
その他、性判別雌卵 (ガラス化保存) 等もありますのでお問い合わせください。

バター作り体験

12月4日、津山市倭文コミュニティ協議会主催による「バター作り体験」が津山市立秀実小学校で開催され、2年生（13名）と地域協議会の方に参加していただきました。

挨拶の後、牛のこと・牛乳のことをクイズ形式で説明しました。

その後、子どもたちと協議会の方で数人ずつのグループをつくり、一緒にバター作りのスタートです。

生クリームの入ったボトルを配ると「これ、なあに？牛乳？」と興味津々だった子どもたちは、ボトルを振り始めると「手が痛い！」「言いながらも楽しそうで、液体の生クリームがホイップクリームになり、さらにバターとバターミルクに分かれていく過程をときどきボトルを開



みんなでバター作りスタート



おいしいね！

けて覗き込んでいました。大人に手伝ってもらうことなく、全員がバター作り成功！できあがったバターはクラッカーにつけて試食してもらいました。

「家で食べてるバターよりおいしい！」「全部食べた！」と好評でした。最後に「学校がお休みの日も家で牛乳を飲んでますか？」と訊ねてみると「毎日飲んでる！」「牛乳大好き！」と嬉しい言葉が聞けました。

津山市倭文コミュニティ協議会では、毎年小学校と連携し、学年ごとの交流を行っておられます。

子どもたちや地域の方に牛や酪農、牛乳について少しでも魅力を感じてもらえるよう、積極的に理解醸成活動に取り組んでいきたいと思

（生乳課）

バスケの試合会場で搾乳!?

12月6日、シゲトリーアリーナ（岡山市北区・旧ジップアリーナ）で、プロバスケットボールリーグに所属しているトライフープ岡山の試合が行われ、その試合会場内で搾乳模擬体験と牛乳の無料配布を行いました。

トライフープ岡山は認知度を高めるため、地域に密着したさまざまな活動を継続的に行っています。この日も「ファミリデー」と題し、親子で楽しめるさまざまなイベントを実施。バスケットボールの試合会場をテーマパークのようにした中で、子どもたちに搾乳模擬体験をしても

らいました。

子どもたちは「牛ってこんなに大きいのか!?」「牛乳ってどうやって搾るのか?」と興味津々のようす。試合



頑張って搾乳してます

観戦に飽きてしまったお子さんは、試合中でも遊びにきていました。

バスケット観戦だけでなく、JA全農の農畜産物が当たるガラガラくじや、ぬり絵コーナーもあり、家族みんなが楽しめるイベントが盛りだくさんでした。

準備していた200本の牛乳と消費拡大のグッズも、試合開始前にはなくなっていました。Jミルクの「土日ミルク」ののびりを立てて「学校が冬休みになっても、しっかりと牛乳を飲んでくださいね!」とPRしてきました。中には「学校を卒業してから牛乳を飲まなくなっ

た」という残念な声もありましたが、「牛乳は毎日欠かさず飲んでいます!」という声も多く聞かれました。入場開始の13時40分から試合終了の18時過ぎまで、白熱するプロバスケットのコートにすぐ近くで、たくさん家族連れに楽しんでいただくと同時に、牛乳のPR活動を通じて私たちも楽しく過ごすことができました。

年末年始の需給が心配されるところですが、少しずつでも新しい場所で消費拡大の活動に取り組んでいきたいと思

（生乳課）

全酪連ミルクサポートプロジェクト ～サマーリリーフ2025取り組み報告～

全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 購買畜産課 業務課 瀧本 慎也

謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、全酪連は昨年「全酪連ミルクサポートプロジェクト サマーリリーフ2025」と銘打って「暑熱対策で牛の健康と経営を守ること」を合言葉に、今年の夏はうまく乗り切れた！と言っていただけの生産者を1戸でも多く増やすことを目標に暑熱対策に取り組みました。

主な取り組みについては、弊社技術顧問の農場訪問による施設環境面や飼養管理面の提案を行いました。

一定の取り組みを実施したものの、取り組みの開始時期が遅れてしまい、暑熱対策の十分な提案ができなかったという反省も残りました。

そこで、昨年の反省を踏まえて、今年も暑熱対策の取り組みを継続することとなりました。

生産者の皆様の経営安定化に貢献することを使命として取り組んで参りますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

全酪連ミルクサポートプロジェクト

 **全酪連**

サマーリリーフ2025

牛の健康と酪農経営を支える暑熱対策

『暑熱対策で牛の健康と経営を守ること』を合言葉に暑熱期の牛の健康と生産性に徹底的に向き合い、今年の夏はうまく乗り切れた！と言っていただけの生産者を1戸でも多く増やすことをゴールとする取り組みです。

プロジェクトが目指す姿

本会の事業方針

本会は生産性の持続的な向上に貢献する高品質な製品を供給すること、そして多様な生産現場に対応できる体制を構築することを目指しています

目標

生産者と牛を守るための行動指標を最重要視し、1戸でも多くの生産者に「夏を乗り切れた」と言っていただけのことを全ての行動の源泉とします

実施内容

生産者の皆様との対話や、関連研修会の開催を通して飼養管理面、施設環境面などからのご提案をさせていただきます



情報誌「カウベル」の関連記事を紹介

**2023夏号**

世界一受けたい酪農講座
暑熱ストレスにおける泌乳牛および子牛・育成牛の飼養管理
ラリー・D・チェイス 技術顧問



**2023春号**

大場真人の技術レポート
胎内ヒート・ストレス
カナダアルバータ大学
乳牛栄養学教授
大場真人 博士



**2021春号**

世界一受けたい酪農講座
添加物の給与
ラリー・D・チェイス 技術顧問



13 2026.1月号

酪農用妊娠牛導入資金サポート

こんなお悩み
ありませんか？

育成牛を買い戻し
たいけど積立金不足で…



分割払いできる
プランはないかな…



連帯保証人は
お願いしたくないな…

そんな
お悩みを

JA三井リースの
「酪農用妊娠牛導入資金サポート」が
解決します！

農業分野の取扱高リース業界トップのノウハウを活かし
お客様の乳用牛導入をサポートします

取組条件

契約期間：最長36ヵ月（据置期間：最長6ヵ月）

適用金利：長期プライムレート+1.5%（返済は毎月一定額）

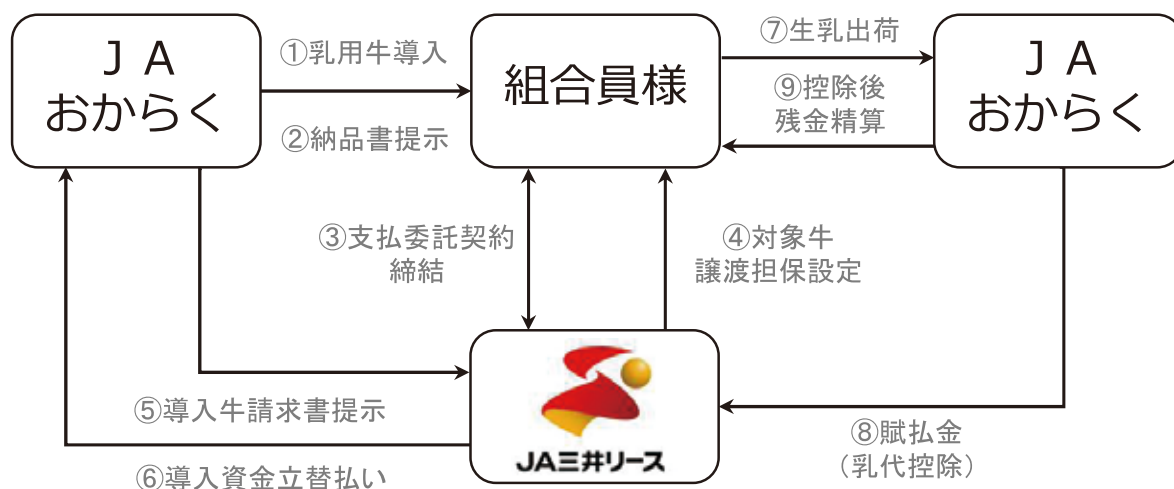
事務手数料：1頭あたり10,000円（税別）

連帯保証人：原則不要 但し、申込時年齢70歳超の場合は事業後継者、
法人の場合は代表者連帯保証をお願いしております。

その他：事業対象牛への譲渡担保設定
家畜共済、家畜防疫互助事業、配合飼料価格安定基金への加入



スキーム



申込時必要書類

青色申告決算書（個人事業主）、決算報告書（農業生産法人）：3期分

検定成績表（牛群）：直近1ヵ月分

JA三井リース所定の申込書

※当社基準によりお引き受けできない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

会社概要

商 号	JA三井リース株式会社
事 業 内 容	賃貸事業、割賦販売事業、各種ファイナンス事業
本社所在地	東京都中央区銀座8-13-1 銀座三井ビルディング
設 立	2008年4月1日
資 本 金	320億円
従 業 員	単体：760名 連結：2,010名
決 算 期	3月
主 要 株 主	農林中央金庫、三井物産株式会社 全国農業協同組合連合会、株式会社三井住友銀行 全国共済農業協同組合連合会、三井住友信託銀行株式会社

<ご参考> 酪農用妊娠牛導入資金サポート お支払い例

前提条件

初妊牛代金：650,000円 諸経費含む

返済条件：① 期間36ヵ月、据置期間6ヵ月、支払回数30回
② 期間24ヵ月、据置期間4ヵ月、支払回数20回

適用金利：※3.95%（全期間固定）、元利均等方式

事務手数料：1頭あたり10,000円（税別）

※ 2.45%（長期プライムレート） + 1.5%

※ 長期プライムレートは「みずほ銀行が公表する条件」を採用しております。

※ 上記適用金利は2025年11月時点の水準であり、実際の適用金利はご契約時点の長期プライムレートで決定させていただきます。

お支払い例

月々

① 23,133円

② 34,141円

$$\begin{array}{l} \text{①} \left[\begin{array}{ccc} \text{月々} & & \text{支払い回数} \\ 23,133\text{円} & \times & 30\text{回} \end{array} \right] + \begin{array}{ccc} \text{事務手数料} & & \\ 11,000 & = & 704,990\text{円} \end{array} \\ \text{②} \left[\begin{array}{ccc} \text{月々} & & \text{支払い回数} \\ 34,141\text{円} & \times & 20\text{回} \end{array} \right] + \begin{array}{ccc} \text{事務手数料} & & \\ 11,000 & = & 693,820\text{円} \end{array} \end{array}$$



岡山県庁

参事 小椋孝史

総務部 部長 入江一憲

総務経理課 部長 藤澤理恵

課長 佐倉淑乃

課長補佐 湯浅達也

安藤大悟

小原ももこ

(兼) 中尾由美子

総務部付け 岡山真理

内部監査室 部長(兼) 藤澤理恵

高橋一樹

コンプライアンス対策室 部長(兼) 小椋孝史

流通課 次長 大西克巳

直原里江

池上正紘

井元銀河

松尾聡子

高見奈々

片山瑛二

日野翔太

矢野敬雄

清水正裕

次長 本城宏史

生産支援課 部長(兼) 事務所統括

課長補佐(兼) 中尾由美子

事業本部

特別対策室 部長(兼) 入江一憲

購買課 課長 水島博子

(兼) 兼宗修平

生乳課 課長 保田友美

課長代理 山中雅美

奥野信介

河本裕介

坂本彩花

購買課 課長 水島博子

兼宗修平

仲矢ゆかり

保田友美

森中友美

黒尾明聖

妹尾明聖

難波正憲

森崎陽子

花本和希

杉本祐太

午道洋夫

津山事務所・津山SP 事務所長(兼)SP所長 小島悟司

事務所長(兼)SP所長補佐 長須悠樹

兼宗修平

遠藤健嗣

小嶋真琴

蒜山事務所・蒜山SP 事務所長(兼)SP所長 神野卓哉

事務所長(兼)SP所長補佐 片岡純一

小椋一樹

備南事務所 事務所長 佐久間和歌

びほく事務所

西大寺事務所 事務所長 眞壁福元

渡邊玲音

溝田義幸

池田琴美

倉田春樹

馬澄真吾

川口権悟

青草真一

濱田高美

児玉将竜郎

山本恭子

西大寺事務所・西大寺SP 事務所長(兼)SP所長 高橋信介

豊浦陽二郎

阿部静香

谷口綺

池田直人

岡本雅代

向井扶祐美

枝木優治

延藤久美恵

矢野敬雄

樋口晋一

濱田高美

ヘルパー 津山事務所

青草真一

川口権悟

馬澄真吾

倉田春樹

池田琴美

溝田義幸

渡邊玲音

眞壁福元

武田昭彦

齊藤和樹

佐久間和歌

廣金佑太

蒜山事務所

西大寺事務所

備南事務所

びほく事務所

津山事務所

ヘルパー

青草真一

川口権悟

馬澄真吾

お礼

このたび、真庭市 長恒 泰治様より叙勲受賞に伴い、岡山市 寺見 知子様より見舞返礼金として、(二財) おからく教育振興会に金一封をご寄付いただきました。

事業主旨に従い、有効に活用させていただきます。

ありがとうございました。

令和7年度「牛乳・乳製品利用料理コンクール岡山県大会」最優秀賞作品
岡山県立倉敷天城高等学校2年 鈴木勝平太さんのアイデアレシピ

おいしく栄養チャージ！小松菜ミルキーグラタン



★材 料（4人分）

牛乳……………140ml
バター……………40g
生クリーム……………100ml
小松菜……………200g
鶏むね肉（ももでも可）…300～350g
むきえび（茹で済み）…160g
ホワイトマッシュルーム…大3個
にんじん……………130g
たまねぎ……………200g
マカロニ……………100g
塩胡椒……………少々
コンソメ（顆粒）……小さじ2
薄力粉……………大さじ6
オリーブ油……………小さじ1
塩……………ひとつまみ
ピザ用チーズ……………適量

★作り方

- ①にんじんをよく洗って、皮を剥かずに半月切りにする。
 - ②ホワイトマッシュルームの石づきを取って、湿らせたキッチンペーパーで汚れを拭き取り、傘を上にして3～5mmの厚さでスライスする。
 - ③玉ねぎは皮を剥き3～5mmの厚さでスライスする。
 - ④鶏むね肉は皮と余分な筋や脂を取り除き、繊維を断ち切るように一口大にそぎ切る。
 - ⑤小松菜を葉と茎で切り分ける。葉の部分を30秒ほど茹でてから、牛乳200mlと一緒にミキサーに入れ、ペースト状にして、ざるで漉しておく。茎の部分は2～3cm長さに刻む。
 - ⑥沸騰したお湯に塩ひとつまみを入れ、マカロニを4分茹でる。
 - ⑦大きめの鍋にバター30g、オリーブ油を入れて、鶏むね肉→マッシュルーム→にんじん→たまねぎ→むきえび→小松菜の茎→マカロニの順に入れて炒め、コンソメ小さじ1・塩胡椒少々を入れて味をつける。野菜がしんなりしてきたらバター10gを入れる。薄力粉大さじ4を入れて完全に混ざり黄色くドロツとしてきたら、牛乳200mlと⑤の小松菜ミルクを入れ、薄力粉大さじ2を入れながら、とろみを調整する。具材とホワイトソースがなじんでまとまってきたら、生クリームを入れ、残りのコンソメと塩胡椒で味を調整する。
 - ⑧容器にバターを塗って、⑦を入れ、ピザ用チーズをまがし、トースターで5～10分焼き、チーズに焼き色がついたら完成。
- ※⑦のとき、むきえびを茹でていないものを使う時は、鶏むね肉のあとに入れて炒めてください。

あとがき

今年の干支は「午（うま）」です。皆様は午年と言えはどのようなことを思い浮かべますか。馬は、力強く前進するイメージから、勢いよく物事が進み、飛躍や成功が期待される年とされています。勢いよくスタートを切りたい年に向いており、新たな挑戦に適した年だそうです。

し、エネルギーに満ちあふれて力強く前進し、成功や繁栄をもたらすという非常にポジティブで縁起の良い意味を持つのです。そんな午年にちなみまして、本年は、駆け抜ける馬のように活気あふれる一年になりますようお祈り申し上げます。

また、午は正午の象徴でもあります。正午は陽の気が最も高まり、エネルギーが満ち溢れるパワフルな時間帯です。物事が最高潮に達

